

第8回 大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会 議事要旨

1. 会議名称 第8回 大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会
2. 日 時 平成29年2月14日(火) 15:30~16:30
3. 場 所 滋賀県危機管理センター 大会議室
4. 議 題
 - (1) 災害廃棄物対策関連の主な国の動きについて
 - (2) 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画第二版(案)について
 - (3) 平成29年度大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会等開催予定について
5. 出席者
別紙参照
6. 配布資料
 - 資料1 災害廃棄物対策関連の主な国の動きについて
 - 資料2-1 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画第二版(案) <第4案>
 - 資料2-2 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画第二版 フロー図(案)
 - 資料3 平成29年度大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会等開催予定

7. 議事内容

(1) 災害廃棄物対策関連の主な国の動きについて

事務局（中部地方環境事務所） 資料1について説明を行った。

(2) 災害廃棄物中部ブロック広域連携計画第二版（案）について

事務局（中部地方環境事務所） 資料2-1、2-2について説明を行った。

岐阜県： 資料編として、災害時等の応援に関する協定書と様式集があるが、こちらはどのような取り扱いとなるのか。

事務局（中部地方環境事務所） 今のところ幹事会限りにさせていただき、防災部局のコンセンサスをいただいてから、広域連携計画に附属する資料とさせていただきたい。正式に附属資料とする際は、お知らせする。

岐阜県： 市町村には、連絡を待ってからの方が良いか。

事務局（中部地方環境事務所） そのようにしていただきたい。

岐阜県： 様式の見直しも訓練等を通じて行われていくかと思うが、この様式を使用して、県や市町村の災害廃棄物処理計画を作っていこうと考えている。様式等は柔軟に対応していこうかと考えているのが、都度の見直しもできるだけ早く進めていただければと思う。また、様式の中で単位の統一した記載がないため、例えば量が枚数なのかトンなのかにより、市町村からあがってくる情報にばらつきが出てしまい整理が困難になることが考えられる。また、車両についても台数のみ記入する様式となっているが、何が必要なのか、どういったものを運ぶのが、この様式では見えてこないため、そういったところも含めてご検討いただきたい。

事務局（中部地方環境事務所） 単位については書いた方が良いのか、書かない方が良いのか、どの単位を使用するのか等、ご意見をいただきながら順次改良していきたい。また、車両の種類等についても、熊本地震の際にも、パッカー車は大型が良いのか中型が良いのか問題になっていたり、がれきであればパッカー車よりも平ボディ車の方が良いのではということもあったので、訓練や実際の被災状況、応援に行かれた市町村のご意見等も含めて改良していきたい。こうした方が良いというご意見があれば、ぜひいただきたい。

名古屋大学： 広域連携計画は、非常に良いものになってきている。具体的に誰が何をどうするかをしっかりと書いてもらっているが、協議会でチェックする仕組みも作ってもらいたい。また、ポケットタイプのマニュアルのような形で、みなさんがポケットに入れて、広域連携はどうするのかを簡単に確認できるようなツールを作成してはどうかと思う。例えば、中部地方環境事務所は、この手順の中では何と何をやる、被災県は何をするというように、ハンディタイプにまとめたものがあるとより良いと思う。

事務局（中部地方環境事務所） 現状の計画は、全体の流れや何を目標しているかは良くわかるが、情報伝達訓練をやってみると、自分が何をやるのかを確認するためには主語を探さなければいけないことを痛感したので、ぜひ進めていきたい。また、BCPが各組織で課題になっていることかと思う。来年度のモデル事業ではBCPも取り入れるが、例えば、環境事務所で何人しか対応できないという制約のある中で広域連携計画の手順を踏むにはどうすべきかなど、BCPへの対応も含めて考えていきたい。また、情報伝達訓練と図上演習

との切り分けや、訓練や演習の目標を明確化することを通して、広域連携計画をより実効性のあるものに変えていきたいと思っている。

事務局（中部地方環境事務所） 平山先生からご意見をいただいたが、構成員の方々の間で、各県の中でこういった良いツールがあるということがあれば、ぜひ情報共有していただきたい。

事務局（中部地方環境事務所） それでは、広域連携計画第二版はこれをもって決定とさせていただきます。ご賛同いただける方は拍手をお願いしたい。

（拍手）

事務局（中部地方環境事務所） ありがとうございます。本日付で、広域連携計画第二版を確定させていただきます。

（3）平成 29 年度大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会等開催予定について

事務局（中部地方環境事務所） 資料 3 について説明を行った。

事務局（中部地方環境事務所） 昨年度は、セミナーの開催は金沢市と名古屋市に固定して毎年実施していきたいとお伝えしたが、これ以外の市でも実施して欲しいというご意見があれば伺いたい。

富山県： 市町村等の担当者は、他の業務との兼務などもあり、他県に出向くことが難しいため、富山県でもぜひセミナーを開催していただきたい。

岡崎市： セミナーの持ち回りに反対はしないが、旅費予算の関係もあるので、持ち回りの場合は次年度の予定をお示しいただきたい。会場の予約等で前年度に提示することは難しいという場合は、固定していただいた方が伺いやすいので、ご一考いただきたい。

事務局（中部地方環境事務所） いただいたご意見を踏まえて検討させていただき、回答させていただきます。

○閉会

以上